

大野市地域医療協議会 会議概要

日時) 令和3年10月15日(金)午後7時～

場所) 結とびあ 3階 308・309号室

1 開会

2 会長・副会長選任 会長：松田委員 副会長：久住委員

3 協議事項

(1) 休日急患診療所の状況について [資料No.1]

○事務局：資料No.1に基づき説明

○主な意見等

- ・救急車の搬入が前年度や前々年度と比べるとかなり少なくなっているが、コロナの影響があるのか。

⇒コロナの影響もあると思うが、令和2年度より深夜待機がなくなったこと、また重症者については直接二次救急に搬送しているためだと思われる。

- ・休日急患診療所では、コロナウイルス感染症の抗原検査はしないのか。

⇒休日急患診療所では、発熱者に対し、アデノウイルスや溶連菌、RSウイルスの検査は行っているが、コロナウイルス感染症の抗原検査は行っていない。

(2) 和泉診療所の状況について [資料No.2・資料No.3]

○事務局：資料No.2、資料No.3に基づき説明

○主な意見等

- ・コロナウイルス感染症の集団接種では、和泉診療所の医師にかなりの頻度で出務していただいていたが、地区住民等からの苦情などはなかったのか。

⇒集団接種への出務については、診療の支障が出ないように休診日である水曜日など医師と調整しながら出務依頼を行った。

(3) 令和3年度在宅医療支援に関するアンケート調査結果について

[資料No.4]

○事務局：資料No.4に基づき説明

○主な意見等

- ・大野市においては高齢者の方の医療依存度が高いままに退院して、在宅医療

になる方が多いと聞いているが、今後オンライン診療などについてどのように考えているのか。

⇒家族の中に若い者がいれば可能だが、高齢者のみの家庭だとなかなか難しい。(委員回答)

⇒介護度の高い在宅の方は、オンライン診療より直接診察するのが一番である。大野市では訪問看護師が頑張ってくれている。コロナで病院に入院すると面会ができないということで、家で最後を迎えたいと在宅での看取りが増えている。(委員回答)

・コロナ禍で認知症や心の問題、身体の機能の衰えなどが社会的な問題として報道されているが、大野市の実態はどうか。

⇒市内での実態について統計はとっていないが、家に閉じこもることで認知機能の低下や身体機能の低下など健康二次被害が増えていると言われていいる。感染対策を徹底しながらヘルスウオーキング事業やお出かけほっとサロン事業等を実施し、家に閉じこもらないように配慮し、事業を実施した。

・心の病は深刻だと言われているが、市内の医療機関で心療内科はあるのか。

⇒市内に心療内科はない。

⇒対処できることは対応するが、専門的なところで見てもらった方がいいと判断した時には心療内科に紹介状を書いている。(委員回答)

(4) 新型コロナウイルス感染症について

○事務局：新型コロナウイルス感染症の県内の動向と大野市のワクチン接種の現状について説明

○主な意見等

・若い人の接種希望者数はそのくらいか。

⇒希望者数は把握していないが、20歳代だと対象者は2,700人ほどおり、2回接種した方は1,900人ほどで、約7割が接種済となっている。

(5) その他

○特になし

4 閉会あいさつ